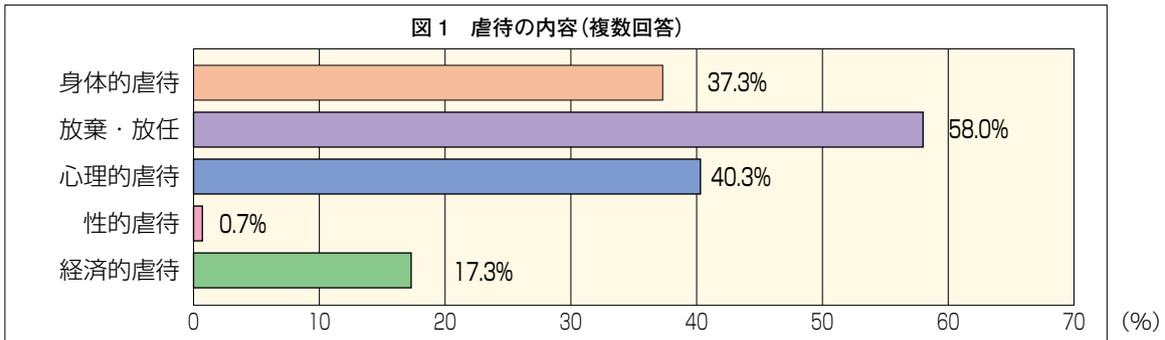


2 在宅における高齢者虐待の実態

福井県における高齢者虐待の実態については、平成16年度に福井県介護支援専門員連絡協議会が、県内の在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所を対象に、「在宅高齢者の諸問題に関する調査」を実施しており、次のような実態が明らかになっています。

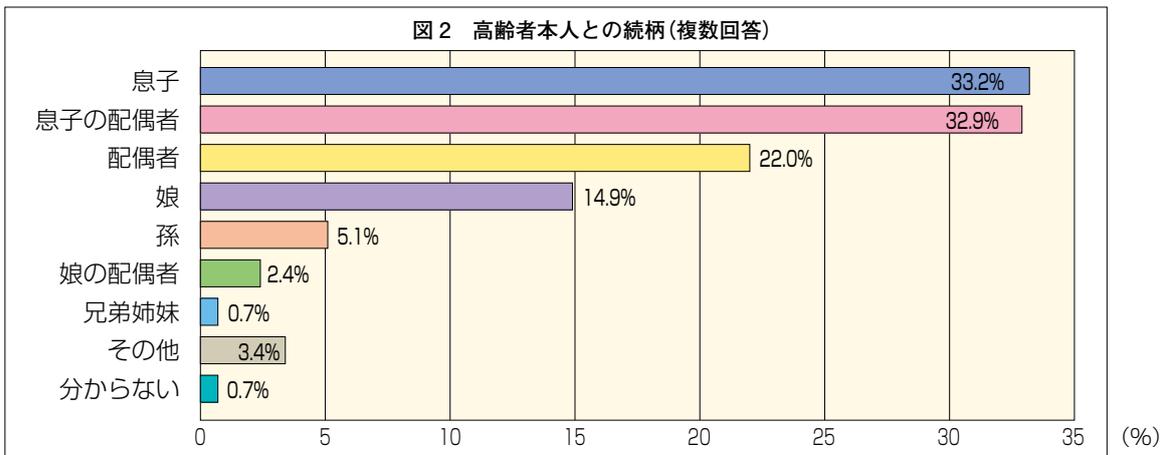
① 虐待の内容(複数回答)

虐待の内容については、「介護・世話の放棄・放任」が一番多く、次いで「心理的虐待」、「身体的虐待」となっています。



② 虐待をしている者の状況(複数回答)

虐待をしている者は、高齢者の「息子」が最も多く、次いで「息子の配偶者」、「配偶者」と続きます。



③ 虐待の自覚

虐待をしている者に虐待をしている自覚があるかどうかを尋ねたところ、約半数に自覚がありませんでした。

虐待は、家族という第三者からはうかがい知れない、深い人間関係に根ざしたものや、長年の頑張り続けた介護の末に起こるものがあり、高齢者が危険な状態におちいっても、虐待の自覚がないことが多いのも特徴です。

